

【ビジョン1】

これまでの富士見丘小学校・富士見丘中学校の伝統と特色を継承し、個々の小学校・中学校として改築しますが、引き続き高井戸小学校を含めた3校で小中一貫教育に取り組みます。

【ビジョン2】

高井戸公園と隣接する周辺環境などを生かして、改築を機に、学習・スポーツ等の環境向上と、あわせて地域防災力の強化を図ります。

【ビジョン3】

地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・中学校・地域が共用できる施設とするとともに、将来に渡って共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設とします。

目標Ⅰ

多様な学び・活動の場と質の高い学習環境を備えた学校づくり

目標Ⅱ

部活動の諸課題を克服し、生涯スポーツの拠点となりうる学校づくり

目標Ⅲ

地域とともに歩む「新たな公共空間」として、地域の生涯学習を支援する学校づくり

目標Ⅳ

高井戸公園等の良好な周辺環境と調和した学校づくり

目標Ⅴ

小学校・中学校の一体的整備の利点を生かすとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

目標Ⅵ

立地特性を生かし、安全・安心で、より高度な防災拠点となりうる学校づくり

取組Ⅰ①

コミュニケーションの場となる多目的スペースの確保

提案Ⅰ①

- 多目的室を小・中学校にそれぞれ2室ずつ計画します。
- 放課後等居場所の拠点（小学校）や地域開放可能な交流室（中学校）としても利用でき、児童生徒や地域住民のコミュニケーションの場づくりを行います。

取組Ⅱ①

中学校の校庭面積の拡大

提案Ⅱ①

- 中学校の校庭面積を、4,000㎡以上確保します。（現状3,286㎡）
- 校庭は、日射の影響をうけにくい南北配置とし、150mトラックを確保します。

取組Ⅲ①

学校諸室の地域開放の推進

提案Ⅲ①

- 特別教室（家庭科室、美術室等）や多目的室、体育館等を地域開放するため、地域開放諸室はなるべくまとめて配置します。また、普通教室（非開放）と明確にゾーニングすることで管理しやすい計画とします。

取組Ⅳ①

みどりあふれる良好な環境の積極的な活用

提案Ⅳ①

- 自然採光を積極的に取り入れるため普通教室は全室南向き配置とします。
- 小学校の屋外テラスを高井戸公園側に向けてすることで、みどりあふれる良好な眺望を確保します。

取組Ⅴ①

小学校・中学校の領域を分けた独立性の高いゾーニング

提案Ⅴ①

- 両校の領域を明確にゾーニングし、独立性を尊重します。

取組Ⅵ①

学校専用部分と地域開放領域に配慮したゾーニング

提案Ⅵ①

- 学校エリアとは別に、災害対応エリアを段階的に区分することで学校の早期再開を可能とします。

取組Ⅰ②

ICT環境の充実

提案Ⅰ②

- 多目的室は、学年単位の授業や集会、発表会等に対応できる学習環境として整備します。
- タブレット型情報端末等の導入を見据えた設計で、ICT教育環境を充実させます。

取組Ⅱ②

校庭や体育館の地域開放の推進

提案Ⅱ②

- 小中をつなぐサブ動線（東西軸）からアクセスしやすい位置に校庭や体育館を配置し、地域開放しやすい計画とします。

取組Ⅲ②

開放会議室の設置

提案Ⅲ②

- 小学校棟1階に開放会議室を設置します。
- サブ動線（東西軸）から直接アクセスできるようにすることで、地域住民が気軽に使いやすい計画とします。
- セキュリティに配慮し、守衛室に近接して配置します。

取組Ⅳ②

高井戸公園内の多目的広場を活用した運動環境の向上

提案Ⅳ②

- 高井戸公園内に計画予定の多目的広場を小学校の運動場としても活用し、放課後及び休日は地域開放することで学校や地域の運動環境の向上を図ります。

取組Ⅴ②

一部諸室を小・中で共有化し多様な学習環境を提供

提案Ⅴ②

- ラーニングセンター、家庭科室やプール等を小中で共有化・相互利用できる計画とします。

取組Ⅵ②

広域避難場所と隣接した環境を考慮した防災機能の強化

提案Ⅵ②

- 小中の校庭・体育館をサブ動線でつなぎ、高井戸公園を含め、災害時に相互連携しやすい計画とします。

取組Ⅰ③

集中して学習できる自習スペースの充実

提案Ⅰ③

- 放課後等に自習スペースとして活用できるよう、ラーニングセンターに閲覧室を計画します。周囲からの視線を遮るためブラインド等を設置し、子ども達が集中して学習できる環境を整備します。

取組Ⅱ③

地域の特格的なスポーツである硬式テニスコートの整備

提案Ⅱ③

- 中学校の校庭のトラック内にテニスコートを整備します。
- 日射の影響を受けにくいよう長軸を南北方向に配置します。

取組Ⅲ③

学校支援本部室の設置

提案Ⅲ③

- 小学校、中学校にそれぞれ学校支援本部室を設置します。
- 玄関や職員室、個別学習室に近い場所に計画し、使い勝手の向上を図ります。

取組Ⅳ③

公園や神田川に近接した立地を踏まえた景観形成

提案Ⅳ③

- 南北に長い壁面を分節化し、建物ボリュームを小さく見せることで、周辺住宅地及び高井戸公園への圧迫感を軽減します。
- 公園に囲まれた立地に着目し、木立の陰影と調和させるため建物に彫りの深い表情を与えます。

取組Ⅴ③

児童クラブの校内配置と小学生の放課後等居場所の実施

提案Ⅴ③

- 児童クラブを多目的室（放課後等居場所の拠点）や体育館からアクセスしやすい場所に計画します。

取組Ⅵ③

多様な利用者に配慮した施設計画

提案Ⅵ③

- 子どもや高齢者まで多様な利用者が利用しやすく、バリアフリーに配慮した施設計画とします。

取組Ⅴ④

簡素で効率的な施設設計と維持管理コストの削減

提案Ⅴ④

- コンパクトでシンプルなプランニングにより維持管理費を抑えます。

取組Ⅵ④

敷地の外周道路等の整備を通じた地域の安全性向上

提案Ⅵ④

- 狭あい道路の拡幅や敷地内歩道の整備を行い、地域の安全性向上や魅力ある街路空間に貢献します。

取組Ⅴ⑤

将来の児童生徒数の変化等に対応できる柔軟性の確保

提案Ⅴ⑤

- 児童数増減に対応するため、少人数教室や一部の多目的室等を普通教室に転用可能な設えとします。

取組Ⅵ⑤

安心して子どもたちが通える学校づくり

提案Ⅵ⑤

- 小中学校の間の区道を「スクールモール」として整備し、通学路の安全性確保に努めます。